

宮津市未来の庁舎を考える市民会議第2回会議

次 第

令和4年8月8日（月）
午後6時30分～午後8時30分

- 1 庁舎見学（宮津市福祉・教育総合プラザ） 1830～1845
- 2 課題発表「他の市役所（県庁）庁舎の整備事例」～ワークショップ 1845～2030
- 3 その他
- 4 閉会 2030

宮津市未来の庁舎を考える市民会議(第2回)参加者名簿

	氏名	区分	備考	
1	磯野 恵	社会人		グループ1
2	道林 英鉄	大学生	ファシリテータ	グループ1
3	桑原 瑞生	大学生		グループ1
4	永井 彩花	社会人		グループ1
5	小西 敦也	社会人		グループ2
6	東山 綾	高校生		グループ2
7	上口 貴子	大学生	ファシリテータ	グループ2
8	神近 仁	大学生		グループ2
9	堀 雄翔	大学生		グループ2
10	中島 朋子	社会人		グループ2
11	吉田 俊彦	社会人		グループ3
12	山中 優芽	高校生		グループ3
13	平井 未憂	大学生	ファシリテータ	グループ3
14	村田 唯衣	大学生		グループ3
15	山本 真緒	社会人		グループ3
16	由里 亮太	社会人		グループ4
17	吉田 楓太	大学生	ファシリテータ	グループ4
18	野村 真未	大学生		グループ4
19	森井 友也	社会人		グループ4

事務局

	氏名	所属	職名
1	宮崎 茂樹	宮津市総務部	部長
2	徳澤 雅仁	宮津市総務部総務課	総務秘書係 係長
3	上山 直仁	宮津市総務部総務課	情報推進係 係長
4	由利 隆博	宮津市総務部総務課	総務秘書係 主査

未来の庁舎を考える市民会議

第1回会議結果

令和4年7月23日（土）
午後2時～午後4時30分

参加者：15名（参加者一覧のとおり）

コーディネーター：福知山公立大学 杉岡准教授

宮津市：市長以下事務局4名

（宮崎総務部長、徳澤総務秘書係長、上山情報推進係長、由利総務秘書係主査）

1 庁舎見学（市役所本館） 14：00～14：30

・本館1階→別館1階→本館南棟2階→本館3階→議場の順に庁舎を見学

※案内者：上山情報推進係長

2 開会（市長挨拶、会議趣旨説明等） 14：30～14：40

■城崎市長あいさつ

- ・「未来の庁舎を考える市民会議」に応募いただき、厚くお礼申し上げます。
- ・市役所庁舎は、老朽化と耐震不足という大きな課題に直面しています。
- ・市の財政は厳しいが、市民のサービスの拠点である市役所庁舎を安心安全で市民に喜んでいただけるものにしていかないと思っており、昨年から、庁舎のあり方について検討を始めました。
- ・今年度は、市民の皆さんの意見をしっかりと聞かせていただく年にしたいと思っております。
- ・こうしたことから、皆さんのように将来、庁舎を利用される若い世代から様々なアイデアやご意見を頂戴するため、この会議を立ち上げることにしたところです。
- ・「こんな市役所であってほしいな」、「これからの時代の市役所はこうあるべき」など、様々なご意見をいただきたいと思いますので、ぜひ、皆さんの感性で、知恵を絞っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

3 参考情報の共有 14：40～14：50

■宮崎総務部長説明

宮津市庁舎あり方検討令和3年度調査報告書概要

市民アンケート結果概要

4 ワークショップ 14:50~16:30

- ・4グループに分かれてワークショップ

ワークショップに当たって杉岡コーディネーターから全体説明

5つの視点を提示した中でどの視点を選択するかグループで検討、発表

視点1：現建物の改修

視点2：現地建替え

視点3：非現地建替え

視点4：他の建物の活用

視点5：バーチャル市役所（来なくても手続きできる）の実現

★各グループの発表概要（発表順はPCで出た数字、1→4→3→2の順）

■グループ1（ファシリテーター：道林 メンバー：桑原、永井）

○市役所庁舎をなくす or 残すの2つの方向性を討議

- ・なくす方向の意見、アイデア：オンライン化による利便性向上、なくすことによる市PRにつながる、テレワークなど職員の新たな働き方の実施、刑務所のような印象・・・など
- ・残す方向の意見、アイデア：地域のシンボルである。耐震化すると外観は変わる・・・など

◎まとめ：オンライン化を進める一方で、市の象徴として庁舎を維持存続させる

■グループ2（ファシリテーター：上口、メンバー：小西、東山、中島）

○今と未来の庁舎をみずえるをテーマとして討議

- ・意見、アイデア
- ・宮津の今のイメージ：人と人との関わりが深くあたたかいまち、親しみやすいまち、きれいに整備されたまちなみ、日本で有名なところ（天橋立がある）、観光名所、海のちかく。一方で人口減少が続くまち
- ・こうなってほしい：子どもがいる家庭が増えるような子育てしやすいまち

◎まとめ：

- ・庁舎は分散するよりもまとまっていたほうがよい
- ・バーチャル化、デジタル化を進めていくほうがよいが、高齢者等デジタル弱者への配慮も必要。直ぐに進めるのは難しい
- ・リフォーム、リノベーションを行ったとしても耐震性が微妙

★未来になるべく課題を残さないようにすることが必要

■グループ3（ファシリテーター：平井、メンバー：吉田、加畑、村田）

○5つの視点のメリットデメリットを出し合いながら討議

- ・1のメリット：場所が今と一緒なのでわかりやすい・・・など
- ・1のデメリット：近いうちに建替えの検討が発生する・・・など
- ・2のメリット：場所が今と一緒なのでわかりやすい・・・など

- ・ 2のデメリット：全ての施設を面積が足りるか疑問
 - ・ 3のメリット：費用が比較的少ない、分散もできる、よりアクセスがよい場所を検討できる
 - ・ 3のデメリット：アクセスしやすい場所にあるのか・・・など
 - ・ 4のメリット：費用が少ない、工事費がそれほどかからない
 - ・ 4のデメリット：ある程度の広さのある施設が必要・・・など
 - ・ 5のメリット：時間にとらわれずに手続きできる、施設の費用がかからない
 - ・ 5のデメリット：ネット環境が整っている人ばかりでない・・・など
- ◎まとめ：施設利用者に応じた分散型配置とDXの推進による視点2、視点3、視点5のハイブリッドがよい

○グループ4（ファシリテーター：吉田、メンバー：野村、森井、川崎）

- ・利用者やサービス内容について意見、アイデアを出しながら討議
- ・若者を対象とすればバーチャル市役所が望ましいとする一方で高齢者や子育て世代など対面ならではのメリットも残していくことが必要。
- ・費用はなるべく抑えたい。

まとめ：整備費用を抑えて現庁舎を修繕に充てていく、視点5と視点4の組み合わせがよい

■講評

◎杉岡コーディネーターから

各グループの発表について特徴的な点をコメント

○今日のワークショップで得られた方向も踏まえ、次回、さらに議論を深めていくようにしてほしい。

○次回までに「他の市役所（県庁でも可）庁舎の整備事例を1つ調べてくること」を課題として出す。次回、各自で調べた結果を持ち寄り、発表していただく。

◎市長から

- ・バーチャル市役所を推す意見が多い感触。DXを進めているところであるが、引き続きオンライン手続きの拡大に取り組んでいきたいと思う。
- ・平常時の視点だけでなく、非常時の市役所の役割も視点として取り入れてほしい。
- ・現庁舎は、市民が集い議論を交わせるようなスペースを設けたデザインとなっている。そういった新しい何かを生み出す場所という視点も検討に入れてほしい。

5 閉会 16:30

次回8月8日（月）18:30から20:30 福祉・教育総合プラザ第1コミュニティルーム

宮津市未来の庁舎を考える市民会議(第1回)参加者名簿

	氏名	区分	備考	
1	道林 英鉄	大学生	ファシリテータ	グループ1
2	桑原 瑞生	大学生		グループ1
3	永井 彩花	社会人		グループ1
4	小西 敦也	社会人		グループ2
5	東山 綾	高校生		グループ2
6	上口 貴子	大学生	ファシリテータ	グループ2
7	中島 朋子	社会人		グループ2
8	吉田 俊彦	社会人		グループ3
9	加畑 凜	高校生		グループ3
10	平井 未憂	大学生	ファシリテータ	グループ3
11	村田 唯衣	大学生		グループ3
12	川崎 碧	社会人		グループ4
13	吉田 楓太	大学生	ファシリテータ	グループ4
14	野村 真未	大学生	ファシリテータ	グループ4
15	森井 友也	社会人		グループ4

事務局

	氏名	所属	職名
1	宮崎 茂樹	宮津市総務部	部長
2	徳澤 雅仁	宮津市総務部総務課	総務秘書係 係長
3	上山 直仁	宮津市総務部総務課	情報推進係 係長
4	由利 隆博	宮津市総務部総務課	総務秘書係 主査